

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 RI会長  
K. R. ラビンドラン 氏

**例会予定** 6月15日 休会 定款第6条第1節  
6月22日 会長・幹事一年間の報告

VOL. 53 No. 40(通算No. 2481)

2016年 6月 8日(水) 例会プログラム  
点 鐘  
ロータリーソング・四つのテスト  
ビジター紹介  
出席報告  
SAA報告  
諸報告  
幹事報告  
会長挨拶  
各委員会事業実績報告



クラブ創立当初のバナーは、ロータリーのマークに「水」の字をあしらったものでしたが、創立10周年当時、バナーを変えたいという意見が出て、研究検討の結果出来たものが現在のものです。鬼怒川と小貝川にはさまれた水海道は、昔から水路を利用して、江戸に通じる要地として繁栄し、川との関わり合いの深い所です。

鯰は「如拙」の「瓢箪鯰」にあるよう、また幸を招く魚として、川魚の代表的な魚です。この「鯰」と「川」が当地の特色をもっとも的確に表すだろうと云うことで、東京女子美術学校講師であった増淵淳子先生が両川の清流に黄金の鯰を配して図案化したものです。

2015-2016年度 会 長 海老原良夫 幹 事 松崎隆詞

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



## 6月はロータリー親睦活動月間

例会報告 VOL. 53 No39(No. 2480) 6月1日(水)晴れ (司会 石井康弘委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎会員卓話

前島 聡会員

### ビジター

第7分区 ガバナー補佐 中村康博様 (牛久ロータリークラブ)

第7分区 ガバナー補佐セクレタリー 手賀晴夫様(牛久ロータリークラブ)

卓話者助手 寺田様、前島様

### 誕生祝



《会 員》倉持功典会員 細野真哉会員 山野井周一会員 二本松恭行会員

### ガバナー補佐あいさつ 第7分区 ガバナー補佐 中村康博様



去年伺ったとき大変緊張致しました。本日も緊張しております。2月のIMにはたくさんの方にご参加いただきありがとうございました。明日6月2日には、親睦ゴルフ大会があります。

また、6月には友好地区のフィリピンに貴クラブの瀬戸会員、石井会員とともに歯科診療と消防車の贈呈式に行ってきます。

一年間ありがとうございました。

### 幹事報告 松崎隆詞幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 藤代RC 6月20日(月)→6月23日(木) 午後6時より つきじ植むら

### 会長挨拶 海老原良夫会長 6月1日「二つのジュショウ(受章と受賞)」



当クラブ田上秀雄会員が春の叙勲で黄綬褒章を受章されました。誠におめでとうございます。昨年9月の大水害からの復興途上にある今日、久々の朗報で今週末6月4日には有志による祝賀会が計画されております。

さて復興関連の明るい話題ですが、今年3月竜ヶ崎一高の生徒たちがまとめた論文『頂行伝・常総市水海道の埋もれた思想家を発掘する』が都内のコンクールで高校の部最優秀賞を受賞しました。

その高校生の論文の内容は、江戸時代に水海道村(現・常総市)を拠点に人の生き方を説いた不二道の指導者、鈴木頂行に光を当て「今こそ常総水害復興に頂行の教えが役立つ」というレポートでした。高校生たちの論文末尾に参考文献引用した著書として、海老原良夫著『常総の隠れた英

## 6月はロータリー親睦活動月間

雄・鈴木頂行とその時代』<平安堂出版 2013 年>と明記しており、私が 3 年前に出版した本も参考にしたようでした。

ところで鈴木頂行の生きた江戸時代は、士農工商の厳しい身分制度のもとに最下位にランクされた商業や商人を蔑視する風潮があるのに対し、商人は商人としての本文のあることを自覚し、商業は社会組織の上で物資の流通を円滑に行わしむる手段であると、その存在理由を強調して、大いに商人の地位を高めるとともに、商人に対しては、儉約、勤勉、忍耐、正直などの徳目を説き、さらにそれが商人として処世上必要な哲学であると唱えたので、江戸の中期以降はこの倫理が商人社会に盛行するに至りました。

それが、京都において石田梅岩が始めた庶民の実践倫理運動「石門心学」でした。

鈴木頂行は安永 8 年(1779)水海道村宝洞宿の荒物屋釜忠に生まれ、少年の頃、既に石田梅岩の唱えた石門心学に心を寄せ、31 歳のとき武州鳩ヶ谷村の不二道の行者小谷三志に入門し不二道の理論化に努め『勸善録』を著したのです。

頂行の説く相互扶助の精神と石門心学(商人道)は、その頃、商都として発展途上にあつた水海道商人の心の糧となり支えとなりました。

学問(石門心学)を心得た水海道商人は、やがて高瀬舟を漕ぎ出し、江戸から様々な物資と多くの文人墨客を招き自由で文化の薫り高い常陸下総随一の商都水海道を築きました。

彼らに蓄えられた物心両面に亘る開明的な素地は、明治に入って、いち早く近代的な思想文化に結実し、これらは当時の学校教育、自由民権運動、出版活動、キリスト教と社会事業など幅広いジャンルでユニークな「常総文化の花」を咲かせたのでした。



写真: <2015年9月の関東・東北豪雨水害にて水没した『常総の隠れた英雄 鈴木頂行とその時代』>

### 会員卓話 前島 聡会員



皆さん、こんにちは。今年の3月に、古矢さん、石井君の推薦で入会させて頂きました、株式会社ダイゼンの前島です。初めての卓話ということもあり、大変緊張をしております。お聞き苦しい点があるかと思いますが、ご了承下さい。本日は、グループ会社の1つである、フォーエバーシステム 代表 寺田君、スタッフの前島君の二人を、助手で連れて来ましたので、宜しくお願い致します。

まず最初に、自己紹介をさせて頂きます。私は、ここ常総市に生まれ育ち、41歳となります。家族構成ですが、両親は共に健在で、妻と、高3の長男、高

1の次男、小4の三男と、男の子が3人おります。趣味は、野球、空手、ゴルフです。長所は、何事も楽しく、一生懸命に取り組む事で、本日の卓話も、楽しんで行きたいと思っております。短所は、沢山ありますが、1つだけ挙げるとすれば、人と接するのが苦手な事です。会社経営では「どれだけ人と接しないで会社を大きくするか」を、常に考えてきました。例えば、当時、自分が営業と運転手をやっておりましたが、人と接するのが苦手な私は営業が大嫌いでした。人と接しないためにも、営業マンを入れ、役割分担することで、自分の弱点を補えると考えてました。しかし、会社の規模が大きくなるに連れ、私の弱点が会社の成長の妨げになっているように感じ、気づけばストレスへと変化して行きました。

このままではいけないと思うようになり、2年半前に弱点克服の目的で、水海道青年会議所、常総市倫理法人会と、2つの団体へ入会しました。そこで、多くの方と出会うことが出来、少しずつですが、弱点克服が出来てると感じてます。また、ロータリーの活動を通して、更なる弱点克服が出来るように頑張ります。

職歴についてお話をさせて頂きます。平成10年、23歳の時、父が経営しておりました株式会社ダイゼンに入社致しました。父と一緒に6年ほど仕事をしますが、29歳の時に大喧嘩をしまい、いったん父の会社から離れ、運送事業を設立致しました。それから3年後、父とも和解し、株式会社ダイゼンの代表取締役へ就任

## 6月はロータリー親睦活動月間

致しました。私の考えで経営を任してくれた父には、本当に感謝しております。

その後は、コンビニ経営、浄化槽維持管理業、請負業、側溝清掃業、IT業まで分野を拡大し、ダイゼングループとして10社の規模へと成長することが出来ました。これも、私に賛同して付いてきてくれた各会社の社長並びに、社員の方々のお陰だと思っております。これからも現状に満足することなく、高い目的・目標を持って挑戦し続けたいと思っております。

それでは、皆様、後ろのスクリーンを御覧下さい。

次に、ダイゼングループについて紹介させていただきます。

ダイゼングループは「お客様、取引先、地域社会からのありがとうを集めます」を経営理念に、事業を行っております。仕事を通じて「ありがとうを集める」には、人々に感謝される仕事をする事と、考えております。感謝は、人間関係を円滑にします。次に、深い絆を作ります。絆は、どの場面、どのような関係であっても、必要不可欠なものです。そして、感謝は、幸せを築く上で必要な事で、自らが正しき方向に進んでいると確信する事で、自分自身への信頼を揺るぎないものにします。感謝は無形ですが、感謝が様々なものを形成します。

ダイゼングループは、たくさんの「ありがとう」を集めて、より良い地域社会の構築、人間関係の形成を目指します。ダイゼングループは、社会貢献運動に積極的に取り組んでおります。

1つ目は、毎週水曜日、社員による地域のゴミ拾いを行っております。この活動は、2年前から行っており、朝の7:30から、30分ほど行っております。本社事務所周辺のゴミ拾いを行っており、地域のクリーン化はもちろん、地域住民との交流を目的としております。些細な活動ではありますが、仕事以外に出来る事を、今後も一生懸命取り組んでいきます。

2つ目は、去年9月、常総市の水害で、大量に発生したゴミを、一時的に保管する為のストックヤードを無償提供致しました。弊社も、水害の被害を受けましたが、地域住民の復興が先決であると考え、私が住む、相野谷地区を中心に、ゴミを受け入れました。スライドの写真を御覧ください。こちらは、水害時に受け入れたゴミです。受け入れたゴミの量は、4800㎡でした。受け入れたものの、ゴミの搬出について市が対応してくれませんでした。しかし、フルヤ建商の古矢さんに助けて頂き、搬出することが出来ました。古矢さんには、本当に頭が上がりにません。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。こうして、2ヶ月間に渡って、ゴミの対応に追われましたが、これも地域住民の一日も早い復興を祈っての事でした。お陰さまで、住民の皆様から、たくさんのありがとうを頂きました。

3つ目は、今年の4月に起きました熊本地震について、ダイゼングループ10社より、支援金を送りました。また、常総市の水害復興で、大変お世話になりました「中島たけしさん」が代表を勤める「NPO 法人 レスキューアシスト」のボランティアホームページ、活動用名刺を、グループ会社のフォーエバーシステムで製作し、無料で提供させて頂きました。微力ながらも、我々に出来る事を、一生懸命取り組んでおります。熊本の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

4つ目は、スポーツ振興を図る目的で、つくばロボットのオフィシャルスポンサーをさせて頂いております。グループで働いているスタッフの子供達が、バスケットクラブ活動をしている事がきっかけでした。子供達に、プロスポーツの素晴らしさを伝える事が出来るのではないかと考えております。

続きましては、グループ各社について紹介させていただきます。

はじめに、株式会社ダイゼングループを紹介させていただきます。当社は、スタッフ6名で、グループ9社の管理事業を行っております。何故9社もあるか？部署を作り、会社は1つでも良いのでは、と思われる方もいらっしゃるかと思います。では、分社化した理由についてご説明致します。理由は3つあります。

1つ目は、消費税対策です。当時は、売上3000万以上の企業は、翌々年から消費税の課税対象でした。

1つの会社にまとめてしまうと、売上3000万を超えてしまい、消費税の課税対象となってしまう事から、分社化を図りました。しかし、平成17年度以降、消費税改正により、売上1000万円以上となってしまう、今では、意味がありません。

2つ目は、リスク分散型経営です会社が財務的に行き詰っても、良い部分だけを残す事が出来ると思ったからです。

3つ目が最大の理由ですが、成果や責任を明確にする為です。1つの会社の部長にするよりは、異なる会社の社長にした方が、成果や責任を明確化出来ると考えました。決して、責任を押し付ける事が目的ではなく、責任感を養う事を目的としております。責任ある仕事を成し遂げる事で、その達成感も、大きく、更なる成長に繋がると考えております。現在の主な取り組みとして、毎月1回、専門の講師を招き、各会社の役員と一緒に、経営セミナーを開催しております。セミナーを通じて、会社としての目的・目標をしっかりと掲げ、中・長期の計画を立て、安定した会社経営をする事が狙いです。先日のセミナーでは、人生ピラミッドについて学びまし

## 6月はロータリー親睦活動月間

た。人生ピラミッドとは、生きて行く上で大切な「人生理念、人生ビジョン、目標の設定、計画化、日々の実践」の5つの要素から構成されております。通常、人は、何かをする際には、目標を設定し、計画を立てて、実践へと入るかと思えます。会社に、経営理念があるように、人生には、人生理念が必要であると考えております。当社のセミナーでは、更に掘り下げて行き、人生理念、人生ビジョンを明確化する事が大切であると考えております。各社役員およびスタッフには、人生理念、人生ビジョンを明確化し、しっかりとしたピラミッドを完成させ、日々の仕事で実践してもらっております。そして、幸せで、物心ともに素晴らしい人生を送って欲しいと願っております。当社の今後の目標は、ホールディングス化です。グループの最適化と、戦略的な経営を目指して、取り組んでいきます。

続きましては、株式会社ダイゼンを紹介させていただきます。当社は、スタッフ30名で、5つの事業を行っております。

1つめが、一般廃棄物収集運搬業です。常総市／守谷市／つくば市／つくばみらい市／取手市の5つの市の許可を取得して、常総市からの委託業、一般企業や個人のお客様からの廃棄物収集運搬業を行っております。

2つめが、産業廃棄物収集運搬業です。茨城／東京／埼玉／栃木／千葉／群馬／神奈川／福島の8つの県の許可を取得して、事業を行っております。今年の3月には、特別管理産業廃棄物収集運搬業の許可を取得し、茨城／埼玉の運搬事業を開始致しました。

3つめが、吸引車および高圧洗浄車による清掃・回収運搬業です。特に力を入れている事業で、常総市において吸引車を所有し、事業を行っているのは当社のみです。事業の種類としては、道路側溝清掃、各種ピット清掃、グリストラップ清掃、排水路清掃、各種プラント清掃、汚泥・汚水など清掃・回収運搬事業を行っております。吸引車も、10tクラスを3台、4tクラスを3台と取り揃えており、工事規模の大小問わず、対応することが可能です。

4つめが、各種配管内 TV カメラ調査事業です。ファイバースコープカメラを使って、排水管等の調査を行っております。

5つめが、一般建設業です。こちらは、今年の4月に許可を取得して、今後は、土木工事、舗装工事、しゅんせつ工事等を行ってまいります。当社は、環境保全に関する取り組みも行っております。環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいく「ISO14001」を、2年前に取得し、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の1つである事を認識し、環境負荷の低減を図ってまいります。当社は、更なるサービスの向上に向けて日々取り組んでおります。出来ないではなく、どうすれば出来るかを考えながら、挑戦を続けていきたいと思っております。廃棄物の収集運搬、吸引車による清掃・回収でお困りの際は、当社へご連絡下さい。お困りでなくても、呼んで頂ければ、いつでも私が伺います。

続きましては、株式会社ダイゼン運送を紹介させていただきます。当社は、スタッフ15名で、一般貨物自動車運送事業を行っております。

所有しているトラックは、ユニック車、平車、ウイング車、と各種取り揃えており、お客様の運送ニーズにお応えすることが出来ます。現在の取り組みは、新規ドライバーの獲得です。深刻なドライバー不足が続いておりますが、若い方の雇用拡大を図る目的で、中型以上の免許取得の為に補助制度等を導入しました。これからも、より多くの荷物を運搬し、多くのありがとうを集めていきたいと思っております。

続きましては、株式会社D&Fを紹介致します。

当社は、スタッフ約200名で、店舗開発・企画・運営をしており、現在は主にファミリーマートコンビニ事業を行っております。茨城で10店舗、千葉2店舗の合計12店舗を経営しております。

さて、皆様、スクリーンの数字は、何を表しているかわかりでしょうか？実は、全国のコンビニ店舗数を表しております。茨城県内でも、1,244店舗御座います。コンビニ業界の現状は、52000という店舗数からもお分かり頂けますように、出展の余地がないほど店舗数が増えて、飽和状態にあります。そして、さらなる利便性を追及すべく、コンビニ各社の競争が激化しております。今後も、コンビニ各社の競争が更に激化することが予測されており、当社としても、より良いサービスの提供を目指して、努力していく必要があります。「あなたと、コンビニに、ファミリーマート」のキャッチフレーズにあるように、お客さまの気持ちに一番近い、なくてはならない「コンビニ」になることを目指します。尚、当社が経営するファミリーマートは、ここ常総市、隣の坂東市、つくば市にも店舗が御座いますので、お近くをお通りの際は、是非お越し下さい。私も、時々レジ打ちしてしますので、見かけましたら、お声を掛けて下さい。

続きましては、株式会社アドバンスを紹介させていただきます。

当社は、スタッフ35名で事業を行っております。請負業として、主に、三協フロンテア様のユニットハウスの製造事業を行っております。ユニットハウスに必要な部品の製作、溶接、組み立て、塗装と、一連の工程を請け

## 6月はロータリー親睦活動月間

負っており、折りたたみが出来るレンタルタイプのもので、折りたたまない販売用の2種類のユニットハウスを製造しております。ユニットハウスの需要は拡大しており、三協フロンテア様においては2015年度の売上は300億円を計上しております。その背景として、震災などによる仮設ユニットハウスの需要が高まっている事が挙げられます。4月に起きた熊本地震もそうですが、当社としては、家を無くされた方の事を思うと、一日も早く仮設ユニットハウスを届けたい、という気持ちで取り組んでおります。そして、仕事を通じて社会貢献が出来ることに感謝しています。今後は、首都圏でのマンション着工の増加や、東京五輪関連工事での需要も見込まれていることから、更なる品質の向上を目指しながら、仕事に取り組んでいきます。

続きましては、株式会社ブレストを紹介させていただきます。

当社は、スタッフ18名で事業を行っております。請負業として、主に、三協フロンテア様のユニットハウスの整備事業を行っております。先ほど、株式会社アドバンスを紹介致しましたが、アドバンスは製造事業、当社は整備事業と、事業を分散しております。事業を分散する事で、仕事の効率化を図ることを目的としております。建設現場等で使用しているユニットハウスは、レンタル形式のものが多く、レンタル期間が終わった物は、一旦整備をして、破損等が見られれば修復し、元の状態へと戻します。先ほども申し上げましたが、首都圏でのマンション着工の増加や、東京五輪関連工事での需要も見込まれていることから、更なる品質の向上を目指しながら、仕事に取り組んでいきます。

続きましては、株式会社コネクトを紹介させていただきます。

当社は、「水と人、暮らしを繋げる」をテーマに、浄化槽保守点検、排水管詰まり修理、給排水設備修理、グリストラップ清掃などの、水まわりに関する事業を行っております。現在は、茨城県西、県南地区を中心に、各ご家庭、工場などの浄化槽点検をしております。設立して5年と、若い会社ではありますが、お陰様を持ちまして、契約数800件を超える事が出来ました。最近では、更なるサービス向上に向けて、管内を点検する専用カメラを購入致しました。お客様にパイプの中の汚れを見て頂く事で、納得頂ける解決方法がご提案出来るようになりました。浄化槽保守点検、排水管詰まり修理など、水まわりの事でお困りでしたら、当社へご連絡下さい。

続きましては、株式会社アース環境を紹介させていただきます。

当社は、産業廃棄物収集運搬業、および、特別管理産業廃棄物収集運搬業を行っております。現在は、茨城県の大手加工食品メーカー、飲料メーカーさんの水処理施設から出る脱水・汚泥の運搬をメインとしております。当社は、株式会社ダイゼンと同業種となりますが、ダイゼンと連携し、仕事が円滑にまわるよう事業に取り組んでおります。当社は「限りある資源を大切にすること」をキャッチフレーズに、今後も事業に取り組んでいきます。

続きましては、株式会社牛久環境を紹介させていただきます。当社は、去年8月に設立したばかりの会社で、牛久市のお客様をメインに、事業を展開しております。当社は、吸引車、洗浄車を使った側溝清掃、集水枡清掃、排水路清掃、調整池清掃、道路路面清掃などの清掃業を行っております。株式会社ダイゼンで培ったノウハウを、牛久市でも活かしたいと考えて、設立致しました。現在は、本格的な事業開始に向けて準備を進めているところです。スタート間もない会社ではありますが、向上心を持ち、良いサービスの提供を目指し、取り組んでいきます。

続きましては、株式会社フォーエバーシステムを紹介致します。

当社は、IT全般のサービスを提供する会社で、去年7月に設立致しました。事業内容は、Windows、スマートフォンアプリケーション開発、ネットワーク構築支援、パソコン導入・修理サポート、ホームページ制作、パンフレット、ポスター制作、出版編集、地図製作など、システム開発から、デザイン設計と、ITに関する様々な事業を行っております。最近では、イベント企画、立案なども行っており、去年11月に開催されました「常総市復興イベント がんばっぺ常総」では広報全般を担当しました。そして、今年の1月に開催されました「常総上等肉祭」では、広報および運営補助を行いました。今年も、それぞれのイベントの開催を予定しており、広報全般を担当させて頂く予定です。つい先日は、満月様の看板を製作し、女将さんに大変気に入って頂き、御礼の言葉を頂戴しました。IT産業は、日々、めまぐるしい成長を遂げております。

クラウドサービス、人工知能、モノのインターネットと、新しい技術が、早いスピードで進化しております。当社としても、これら最新技術を意識しながら、お客様のニーズに合った良いサービスの提供を目指し、取り組んでいきます。ITの事でしたら、どんな些細な事でも結構ですので、当社にご相談下さい。助手の寺田、前島が、直ぐにお伺い致します。

以上で、ダイゼングループ10社の紹介とさせていただきます。

卓話の中で、グループ10社の宣伝をさせて頂きましたので、皆様から、お仕事がもらえる事を確信しておりま

## 6月はロータリー親睦活動月間

す。どうかお手元のパンフレットをお持ち帰り頂き、ご活用頂ければと思います。最後になりますが、グループ10社ともに、力不足なところがありますので、皆様、今後ともご指導の程、宜しく願い致します。本日は、ご清聴ありがとうございました。



### 出席報告 荒井孝典委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
55名	40名	15名	0名	2名	76.36%

### ニコニコボックス 染谷秀雄委員長

入金計 ¥52,000 累計 ¥1,770,000

誕生祝御礼《会員》倉持・細野・山野井・二本松 各会員

本日例会終了後、今期最後の理事役員会を開催します。最後の評定です。よろしくお願い申し上げます。

海老原会員

海老原年度残す所1か月となりました。皆様宜しくお願いします。 松崎会員

中村ガバナー補佐ようこそ。前島さん卓話楽しみにしています。 斎藤会員

海老原・松崎年度も残す所1か月になりました。楽しい例会も残り少ないので充分楽しんで下さい。中村ガバナー補佐御苦勞様でした。分区コンペ楽しみたいと思います。 熊谷会員

中村ガバナー補佐、本日はありがとうございます。前島会員、卓話宜しくお願い致します。 石井会員

親睦でお世話になりました。外人4名昨日帰りました。皆様によろしくお伝え下さいとの事です。 大塚会員

前島さん、卓話楽しみにしています。誕生祝大汗の果物運びも今日で終わりです。お手伝い頂いた会員の皆さまありがとうございました。 石塚(克)会員

前島君、楽しみにしています。 古矢会員

前島様、卓話宜しくお願いします。 五木田(裕)会員

前島さん、卓話楽しみにしています。 荒井会員

例会欠席、前島会員卓話よろしく。 雨谷会員

初めての卓話で大変緊張しております。不安でいっぱいですが、頑張りますので宜しくお願い致します。

前島会員

明日の分区ゴルフ楽しみです。優勝が視野に入ってきました。 青木(清)会員

今年度残す所あとわずか。ニコニコBOXご協力お願いします。 染谷(秀)会員

例会欠席しました。 松村・福田・鯉沼 各会員

会報委員会 二本松恭行委員長 亀崎徳彦副委員長 本橋美章委員

## 6月はロータリー親睦活動月間

### 奉仕の姿

親愛なるロータリアンの皆さん、イギリスの作家で空軍のパイロットだったロアルド・ダールは、熱心な写真家でもあり、多くの旅に愛用のツァイス製カメラを携えていました。フィルムやガラス製ネガを用いて一枚ずつ手間をかけて現像を行っていた時代に、彼には何百枚もの写真コレクションがありました。後年、これらの写真は彼の旅行の視覚的な記録となり、体験をつづったり、ほかの人とシェアするために使われました。しかし、彼はいつも自分の思い出を、写真よりも鮮やかに語りました。ダールは、出来事や経験の多くは、明快に捉えることが不可能であり、それらは画像や言葉では十分に伝えることができない、と話していました。



言葉では言い尽くせず、写真は色あせ、心も正確ではなく、そして細部は失われていきます。しかしダールが言うように、決して色あせず、何十年たっても記憶の中で炎のように輝き続ける経験もあります。その炎の壁は私たちの記憶の中で輝きを放ち、その前と後の人生を分ける境界線となります。

このたとえば、今まで、ロータリーを通じて世界中を巡った私の経験にも当てはまります。まさにこの一年間は、私の心の中に、それ以前とこれからの人生を分ける炎の壁としてそびえ立ってきましたし、これからも常にそうであり続けるでしょう。

この12か月間を振り返ると、日々の一つひとつの情景が、万華鏡のように代わる代わる目に浮かびます。命をつなぐ心臓手術を受け、快方に向かう子どものそばで心配そうに見守るインド・チャンディーガルの親。破壊的な震災からの復旧を果たした村のあちこちで、はためいていたネパールの国旗。パチカンのサンピエトロ広場で行われたロータリアンの祝典で、ローマ教皇から祝福を受けたときの畏敬の念。そして、世界中の多くの国でさまざまな言語を会して、初めて会うロータリーの兄弟でもあり、姉妹でもある友人との楽しいひと時。

国際ロータリー会長としての経験は、写真や言葉では真に語り尽くせない壮大な任務で、光輝燦然たる火柱となって私の記憶にとどまっています。幾千の場面がその記憶や感情とともに頭の中をめぐり、一つの大きなモザイク画となっています。そのモザイク画の一片一片は、皆さんによって実現された素晴らしい活動の数々です。

本年度も終わりに近づき、この素晴らしい組織の一員としてさらに大きな誇りを感じています。世界をより豊かにし、絶望を希望に変え、恵まれない人々に上昇への道を示すロータリーは、私たち一人ひとりが「世界へのプレゼントになる」ことで、多くの人への贈りものになるのです。

K. R. RAVINDRAN

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL